

令和4年度 黒沢まちづくりセンターの主な取組

事業名

魚食普及事業「食卓に魚を増やそう」

P

●事業実施に至った背景、目的

年々落ちている1人あたりの魚介類の年間消費量を見て、浜田市には豊富な水産資源があるにも関わらず、それを利用しないのはもったいないと思った。そこで、子どものいる家庭に焦点を当て、まずは魚を捌く事から体験をし、魚料理への苦手意識の克服を考えた。また、子どもと一緒に調理を行うことで親子間でのコミュニケーションに繋がることを目的とした。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ・浜田市水産業振興協会依頼（7月4日）
- ・講師との打ち合わせ（7月5日）
- ・イカ搬入（7月22日）
- ・事業実施（7月23日（土）13:00~）

D

●事業の概要

- ・自己紹介
- ・イカの種類や、体のつくり、機能についての説明。
- ・講師の指導の元、下ごしらえをおこない体得してもらう。
- ・コロナ対策のため、調理は行わず、家庭に持ち帰って料理をしてもらう。
- ・後日、家庭での調理の様子や完成写真、感想などを提出してもらう。

C

●事業実施後の振り返り

イカの種類の説明は、浜田で購入できるイカや、釣る事の出来るイカを中心に説明をし、興味をもってもらった。イカを捌く際は、親子一緒に活動してもらい、職員がフォローに入った。包丁の刃の入れ方なども説明してもらい、児童たちも自分たちで捌く事が出来た。

普段魚を料理しない保護者も「やってみると案外簡単だったので自宅でもイカを調理しようと思った。」との感想をいただいた。

当日急に捌く魚介類の説明を内容に追加したので、バタバタしてしまった。事前に内容を詰めて準備するとスムーズに進めることが出来たと思った。

A

●令和5年度以降の方向性

今年度は初めて親子事業として魚食普及事業を行った。保護者からの反応も良かったので、魚の種類を変えての事業計画も視野に入れたい。

下ごしらえだけではなく、料理の指導や飾りつけ、保管方法なども体得できれば良いと思った。

黒沢地域は親子世帯が少ない為、地域を限定せずに事業を組むことで、親同士、子ども同士の交流に繋がるので検討したい。

